



侍史書中

謹啓秋気漸々去催
 以歳至る所法々壯
 々として進歩を遂げ之
 至りて其の如く新聞上
 之は其の如く當面
 其後何事もよく切
 角に戦争見物に
 隨意致す事を得
 ざる次第甚だ事
 感能く依て此のし
 り内地を旅行致す存
 甚だ要しく外人と
 其を見れば其何れの外
 玉たること同く其石
 其をも授する次第不
 心配致す故当は上
 海に警居る兵を戦
 地を危険を侵すに費
 陪と云ふ所の内太平洋
 事の處に遊んて瓦石傷
 けりる... 其れを本
 急に付き先つて上海見
 物を致す

大隈總理
 閣下

小共の夕刻まで進歩究本部
 出版致す

尾崎行雄書簡 大隈重信宛
 明治18年9月13日
 早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library
 I14-B155(3)

